



2026 年 2 月 6 日

各 位

会 社 名 アイサンテクノロジー株式会社
代表者名 代表取締役社長 加藤 淳
 (東証スタンダード・名証メイン コード:4667)
問合せ先 取締役経営管理本部長 曾我 泰典
 (Tel 052-950-7500)

東京都瑞穂町にて自動運転バス運行開始に参画
～公共交通の未来を支える、高精度地図と運行支援技術～

A-Drive 株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：岡部 定勝）およびアイサンテクノロジー株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：加藤 淳）は、東京都瑞穂町と連携し、自動運転バスの運行の取り組みを 2026 年 2 月 14 日より開始いたします。

本取り組みは、将来的な自動運転バスの本格導入に向けた一歩として、地域住民の皆様に向けて最先端のモビリティ体験を提供することを目的として瑞穂町が主体となり、各関係機関と連携して推進しています。

※本事業は、内閣府地方創生推進事務局が所管する「第二世代交付金（新しい地方経済・生活環境創生交付金）」の支援を受けて実施されます。

詳細は別添をご覧ください。

以上

PRESS RELEASE



報道関係者各位

2026 年 2 月 6 日
A-Drive 株式会社
アイサンテクノロジー株式会社

東京都瑞穂町にて自動運転バス運行開始に参画 ～公共交通の未来を支える、高精度地図と運行支援技術～

A-Drive 株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：岡部 定勝）およびアイサンテクノロジー株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：加藤 淳）は、東京都瑞穂町と連携し、自動運転バスの運行の取り組みを 2026 年 2 月 14 日より開始いたします。

本取り組みは、将来的な自動運転バスの本格導入に向けた一歩として、地域住民の皆様に向けて最先端のモビリティ体験を提供することを目的として瑞穂町が主体となり、各関係機関と連携して推進しています。

※本事業は、内閣府地方創生推進事務局が所管する「第二世代交付金（新しい地方経済・生活環境創生交付金）」の支援を受けて実施されます。

■運行概要

運行期間：2026 年 2 月 14 日（土）～2 月 20 日（金）※15 日（日）は運休

運行便数：1 日 6 便（事前予約制・無料）

運行コース：「石畑・殿ヶ谷コース」約 7.5km の一部区間を自動運転レベル 2 で走行

予約方法：Web または電話で事前予約（1 便あたり 13 名）

詳細はこちら

<https://www.town.mizuho.tokyo.jp/kankyo/004/014/p011394.html>

（※瑞穂町公式サイト）

■実施体制（主な関係者）

瑞穂町（事業統括・主体）

A-Drive 株式会社

立川バス株式会社

アイサンテクノロジー株式会社

自動運転車両が安定かつ安全に運行できる環境構築をサポートし、地域住民の皆様の安心と信頼の獲得につなげてまいります。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

A-Drive 株式会社

社会実装推進部

E-Mail：contact@a-drive.jp

アイサンテクノロジー株式会社

モビリティ・DX ビジネスグループ

E-Mail：atam@at45.aisantec.jp



瑞穂町

すみたいまち
つながるまち
あたらしいまち

実証実験運行期間中は
運賃無料/要予約

3月からコミュニティバスにて実装予定！
自動運転バスの運行予定日は町HPにて案内します。



自動運転バスに

乗ってみよう

実証実験運行

2.14^土 ~ 20^金

日曜運休



ルート

石畑・殿ヶ谷コース(ジョイフル本田方面)

箱根ヶ崎駅東口

自動

大橋場

自動

瑞穂町役場

瑞穂第一小学校

寄り合いハウスいこい

阿豆佐味通り北

ジョイフル本田

菜の花クリニック

阿豆佐味通り南

JAにしたま瑞穂支店前

自動

西武信用金庫瑞穂支店北

今回の実証実験運行では、緑色の区間を自動運転レベル2で運行します。

詳しくは右のQRコードからご確認ください▶



自動運転バス導入の目的と効果

瑞穂町では、自動運転技術の導入により公共交通を再編していきます。これにより、運転士等の担い手不足への対応、交通事故の減少（安全性の向上）ダイヤの改善、運行頻度向上等を進め、持続可能かつ利便性の高い公共交通網を形成します。地域住民のみならず、通勤・通学者の交通利便性やモノレール延伸部における新たなまちづくりの効果を高め、町の発展に寄与することを目指します。

【今後の予定】

コミュニティバスの「石畑・殿ヶ谷コース」にて、自動運転バスを導入し、令和7年度は一部レベル2運行、令和8年度はコース全体のレベル2運行、令和9年度は一部レベル4運行を目指しています。

【自動運転のレベル】

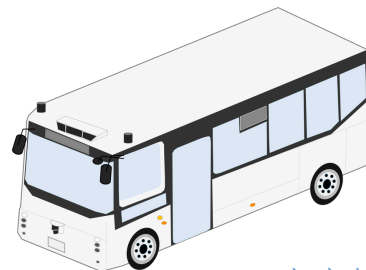
（レベル2運行）

- ・運転手搭乗型（主体）
- ・システムがアクセル・ブレーキとハンドルの両方を部分的に操作する

（レベル4運行）

特定の条件下で、

- ・システムがすべて運転する
- ・異常時もシステムが主体となり対応する



自動運転の仕組み

自動運転を支えるしくみーAutoware（オートウェア）

Autowareは、日本で生まれた国産の自動運転ソフトウェアです。

自動運転の車を動かすために必要な機能がまとめられており、世界で初めて作られた「みんなで使える（オープンソース）」自動運転のソフトでもあります。

車に取り付けられたカメラやLiDAR（ライダー）というセンサーを使って、

「まわりに何があるかを調べる / 自分の車がどこにいるかを知る / どのような風に道を走るかを考える / アクセル、ブレーキ、ハンドルを動かす」といったことを行います。

日本の大学や企業が中心となって開発され、今では海外でも使われています。

実験だけでなく、実際の自動運転サービスにも使われている、日本発の技術です。



自動運転の「目」ーLiDAR

LiDARは、レーザー光でまわりまでの距離を測るセンサーです。

人や障害物、道路の形を立体的にとらえ、自動運転を支えています。

カメラ

自動運転車には、役割のちがうカメラが使われています。

人や物を見分けるカメラ、信号の色を認識するカメラ、走行の様子を確認するカメラがあります。

ご乗車は無料です。

事前予約が必要です。（1便あたり13名）

ただし、予約に空きがある場合は、各停留所からご案内を行います。

ご乗車された方は、今後の事業の発展のために、ご乗車後のアンケート調査にご協力ください。

荒天や自動運転システムの不具合などにより運休する可能性がございますので、町HPの情報を必ずご確認ください。

状況により手動運転での運行に切り替わる可能性がございます。

事故防止のため、やむを得ず急停車する場合がございますので、ご注意ください。

運行の支障やほかの参加者の迷惑になると判断した場合には、ご乗車をお断りする場合がございます。

安全のため、着座でのご乗車にご協力をお願いいたします。

予約はこちらから



問い合わせ先

瑞穂町 都市整備部 交通政策モノレール推進課 042-557-7579

連携事業者



TACHIKAWA

A-Drive

AISAN
TECHNOLOGY CO.,LTD.